

施策の実施計画

短期計画を令和8年度～令和12年度、中期計画を令和13年度～令和17年度とします。
また、計画期間以降（令和18年度～）を見据えた長期的な視点での取組についても検討します。

【調査・研究】

施策	施策内容	期間
文献資料調査	本史跡に関する文献資料の把握調査・研究の実施	適時
樹木医診断	樹木の適正な管理の実施	短期
石垣の維持・管理	石垣の詳細カルテの作成	短期
発掘調査	史跡指定地内・外の発掘調査	中期

【保存管理】

施策	施策内容	期間
維持管理	定期的な巡回・清掃の実施	適時
標識の設置	国史跡名称碑の設置	短期
遺構保存	石垣安全柵の整備	短期～中期
構造物の取扱	史跡指定地にある構造物について検討	短期～中期
サイン施設の整備	サイン内容の更新	短期～中期
地形測量	史跡内の土地の形状の確認	中期
追加指定	指定範囲の追加指定を目指す	長期
周辺環境	須崎湾への眺望の改善	長期

【活用】

施策	施策内容	期間
情報発信	ホームページやリーフレットの更新、SNSでの情報発信等	適時
地域における活用	地域活性化や発掘現場の公開	中期～長期
学校教育	課外授業の実施、副読本の見直し等	長期
ガイダンス施設	ガイダンス施設の充実	長期
広域観光	周辺地域との連携	長期

【整備】

施策	施策内容	期間
敷地の確保	駐車場整備等の敷地確保を目指す	短期
施設整備	史跡指定地内にある施設の整備	短期～中期
樹木整備	樹木伐採の実施	短期～中期
遺構整備	往時の姿を再現できる整備	中期～長期
デジタルコンテンツ	デジタルコンテンツでの活用	長期

【運営・体制整備】

施策	施策内容	期間
体制の整備	文化財専門職員の確保	中期～長期

須崎市教育委員会 〒785-8601 高知県須崎市山手町1番7号
TEL:0889-42-8591 FAX:0889-40-0073 メールアドレス: shogail@city.susaki.lg.jp 令和8年3月発行



保存活用計画の目的

国指定史跡土佐藩砲台跡保存活用計画は、土佐藩砲台跡の歴史的価値を再確認するとともに、適切に保存・管理し、今後の活用・整備を行うために講ずべき措置や方針を示した計画です。

これまでの調査や資料、今後行われる調査結果資料等を取り入れながら本史跡の本質的価値を明確にするとともに、効果的な調査・研究、保存管理、活用、整備等を進めるための基本方針を定め、確実に次世代へ継承することを目的とします。

計画の実施期間

国指定史跡土佐藩砲台跡保存活用計画は、令和8年（2026）4月1日から令和18年（2036）3月31日までの10年間を計画の実施期間とします。

土佐藩砲台跡の概要

土佐藩砲台は、幕末の海防強化を目的に須崎湾沿岸に築造された砲台群で、西・中・東の3砲台が整備されました。中でも西砲台は最大規模で、7つの砲門と火薬室を備えた扇形の構造を持ちます。明治時代以降は陸軍用地となり、昭和初期には西砲台跡のみが残存しました。

昭和4年（1929）に高知県史跡、昭和19年（1944）に国史跡に指定されました。戦後は西浜公園として整備され、地域のイベントや教育活動に活用されてきました。近年では展示会やツアー、講座などを通じて史跡の価値が再認識され、地域の学びと交流の場として親しまれています。



当時の土佐藩砲台跡の位置

名称：土佐藩砲台跡

種別：史跡

所在地：高知県高岡郡須崎町大字須崎字西浜1225番1

指定年月日：昭和19年（1944）11月13日

指定基準：二、都城跡、国郡庁跡、城跡、官公庁、戦跡その他政治に関する遺跡

指定面積：4,657㎡



土佐藩砲台跡の本質的価値の明示

土佐藩砲台跡の本質的価値について、国史跡指定時や史跡指定後の調査等をもとに整理します。また、土佐藩砲台跡は築造後に一部遺構の改変や公園化を経て、地域の憩いの場として活用されてきました。その過程で形成された歴史的背景を本質的価値に準ずる価値として整理します。

【本質的価値】

①文久期に築造された須崎砲台のうち、西砲台が現在まで良好に残っており、当時の様相を示す台場遺構として貴重である。



②江戸時代末期の外国船に対する海防の強化の一環として築造された土佐藩の砲台跡で、当時の海防情勢を知るうえで貴重である。



③西砲台は須崎湾に面した位置にあり、現在でも史跡内から須崎湾を望むことができ、当時の歴史背景や景観を想像できる場所として貴重である。



【本質的価値に準ずる価値】

一部遺構の改変や公園整備を経て、市民に親しまれながら地域とともに守られてきた。



土佐藩砲台跡の大綱

土佐藩砲台跡の本質的価値、現状・課題をふまえて、目指すべき将来像を「大綱」として、設定します。

- 江戸時代末期の海防情勢と近世砲台の様相を知るうえで重要な史跡として永く後世に残します。
- 土佐藩砲台跡と須崎湾とのかかわりを含め、往時の情景や歴史的背景が体感できる整備を目指します。
- 本質的価値を調査研究で掘り起こし、土佐藩砲台跡の価値を最大限に活かした公開・活用を実施します。

土佐藩砲台跡の基本方針と方向性

大綱を実現するために、「調査・研究」、「保存管理」、「活用」、「整備」、「運営・体制整備」の5項目の基本方針を設定し、方向性を定めます。

【調査・研究】

基本方針	方向性
・本質的価値を構成する諸要素の調査研究を計画的に実施し、本質的価値を深化させます。	・遺構の調査・研究を通じて史跡の価値を深め、保存・管理のための記録を残します。

【保存管理】

基本方針	方向性
・土佐藩砲台跡の保存・継承に向けて、史跡の明示、適正管理、日常的な維持、眺望改善に取り組み、当時の姿を感じられる環境を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> ・調査・研究の成果をふまえ、構成要素を確実に保存するため、史跡指定範囲を明示し、価値の維持や状態把握に努めます。 ・指定地内の構造物の取扱いを検討し、現状変更の基準を定めて保存・管理を徹底します。 ・地震や大雨などの災害に備え、対応を図ります。

【活用】

基本方針	方向性
・史跡の保護意識と価値理解を促進するため、案内機能の充実、教育現場での活用、地域と連携したまちづくりへの活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・本史跡の価値を広く伝えるため、指定範囲内は原則公開とし、情報発信を行います。 ・幅広い世代に歴史に触れる機会を提供します。 ・周辺と連携し、地域活性化にも活用します。

【整備】

基本方針	方向性
・史跡の理解と安全・快適な利用環境のために、効果的かつ計画的な整備を行い、既存設備の見直しや案内施設の充実、交通アクセスの改善に取り組めます。また往時の姿を再現できる整備を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査や文献資料を十分に活用し、来訪者が理解しやすい整備を行います。 ・地域住民への周知を図りながら進めていきます。

【運営・体制整備】

基本方針	方向性
・須崎市教育委員会が中心となり、庁内連携や住民協働による体制を整備し、史跡の保存・継承と日常的な維持管理を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・須崎市教育委員会を主体として管理運営を行います。 ・庁内関係課や有識者等と連携し、進めていきます。 ・地域住民が日常的な維持管理に参加できる体制を整え、発掘調査や整備等に必要の財源も確保します。